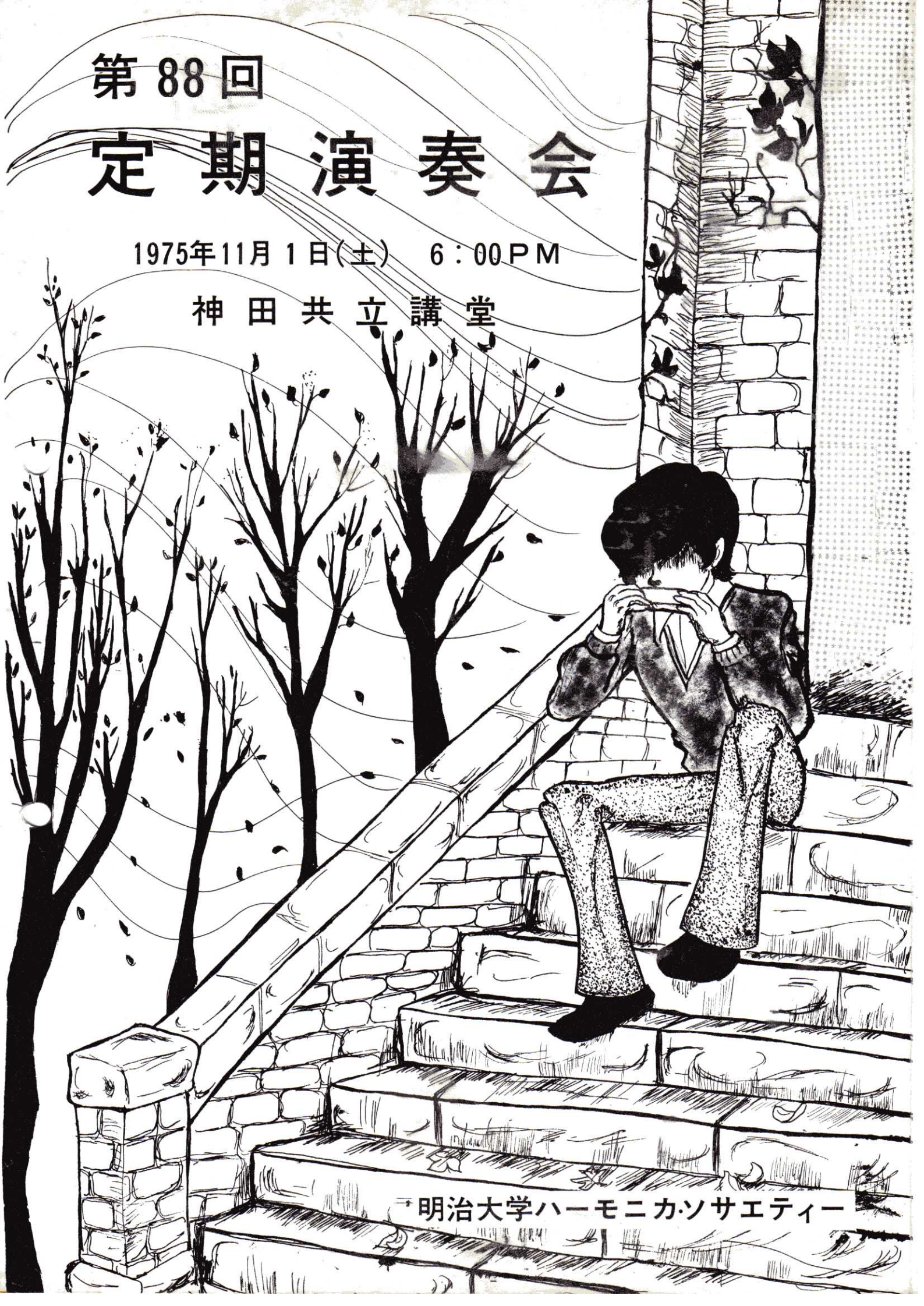


第 88 回

定期演奏会

1975年11月1日(土) 6:00PM

神田共立講堂



明治大学ハーモニカソサエティー

MESSAGE



部長
北島忠男

記録的な残暑をともなった今年の夏も去り、落葉の季節をむかえて、ここに秋の定期演奏会を開催するはこびとなりました。今春入部した学生諸君も春の演奏会や夏の合宿を通じて腕をみがき、自信をもって今日の演奏会にのぞんでおります。4年生の部員諸君は、困難な就職戦線を突破し、この演奏会を最後に、いろいろな意味で転換期をむかえた社会に巣立って行こうとしています。

このようにして、毎年のことながら、ハーモニカ・ソサエティーの部員諸君はステージをつとめ、やがてはOBとなって客席の人となって行きます。演奏する学生諸君は年ごとにも変わっても、ソサエティーの演奏会がもちつづけられているのを目にしていると、こうしたなかにも人間と社会の有限と無限といった人間の生活を感じないわけにはいきません。

今後とも、明治大学ハーモニカ・ソサエティーが絶えることなく演奏会を開催して行くことができますよう、皆様の暖かいご支援を心からお願い申し上げます。（北島忠男）

秋風が舞い散る落葉にそっと冬の訪れを告げる今日この頃。貴明治大学ハーモニカ・ソサエティーが第88回定期演奏会を盛大に催されますことを私達明治大学マンドリン倶楽部一同心よりお祝い申し上げます。本日の演奏会が皆様の日頃の音楽への情熱とその研究成果を十分に発揮された立派な演奏会となる様お祈りし、同時に今後の御発展をお祈りしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

秋。ハーモニカをポケットにつっこんで一人舗道をゆくのも似合うけれど、2人、3人、寄りそってハーモニカをふくのも楽しいさ。だけど、はぎれのいいドラムとビートのきいたベース、そして、センスのいいギターと、そう、フルートもいれよう。そしてハーモニカ。こんな大所帯の仲間も楽しいよ。そして、こんな仲間が集まって、今日、演奏会をひらく。いろんな仲間がステージにも、客席にもいて、いろんな音をだそうとし、いろんな想いをし、そして、何かが創り出されようとしているんだ。そんなわれわれの仲間である明治大学ハーモニカ・ソサエティーの定期演奏会が、素晴らしいものとなることを祈ってやみません。

文責：早稲田・伊藤修一

早稲田大学ハーモニカ・ソサエティー
立教大学ハーモニカ・ソサエティー
中央大学ハーモニカ・ソサエティー

紅葉の美しさに日一日と秋の深まりが感じられる今日この頃、今宵ここ神田共立講堂におきまして、第88回定期演奏会を迎えますことは私共部員一同大きな喜びとするところであります。今回は第1部に嘗て日本国内はもとより、遠くアメリカにおきましても大ヒットしました「上を向いて歩こう」の曲を取り上げ、様々なリズムで演奏し、また第2部に複音ハーモニカ奏者世界No.1の佐藤秀廊先生をゲストに迎えましてハーモニカの魅力を存分に堪能していただく所存であります。何分にも勉強の合い間の練習ですので、未熟な点多々お気付のことと存じますが、未熟ながらも精一杯練習を積んでまいりました。私共の演奏が少しでも皆様方にお楽しみ頂ければ幸いと存じます。最後に、この演奏会のために会場整理に当たって下さいました早稲田大学ハーモニカ・ソサエティーの方々、並びに御多忙にも拘らず御来場下さいました皆様方に心から御礼申し上げます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー
部員一同

